

第 34 回 みずき会バス旅行

2024 年（R6 年）5 月 24 日にみずき会歩こう会のバス旅行が開催されました

場所 名園三溪園の散策と横浜中華街グルメの旅

参加者人数 33 名

○三溪園

- ・横浜三溪園は、実業家原富太郎（茶人としての号 三溪）によって造られた日本庭園、横浜本牧に広がる 17,500 m²の起伏ある地形を持つ園内には京都や鎌倉などから集められた三重塔や茶室等、歴史的な建造物が巧みに配置されています
- ・5つのグループにに分かれそれぞれにガイドさんが付き説明を聞きながら各所を回りました。



正門門柱



正門付近から「旧燈明寺三重塔」を望む風景





鶴翔閣

三溪が住まいとして建てた延床面積 9 5 0 m² の規模を誇る建築
三溪と交流のあった文化人や政財界人らが多く出入りした場所としても知られています



臨春閣 紀州徳川家初代藩主の頼宜が和歌山・紀ノ川沿いに建てた数寄屋風書院造りの別荘建築。内部には狩野派などの絵師による障壁画の複製が各所にあります



白雲邸の御門

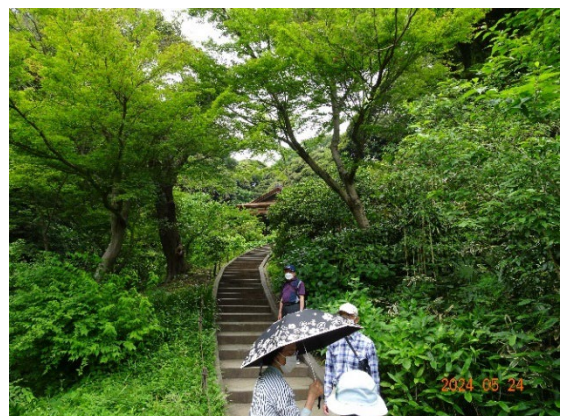
白雲邸は三溪が隠居所として夫人とともに暮らした数寄屋風建築で作られていた



旧天瑞寺寿塔覆堂

豊臣秀吉が京都・大徳寺に母の長寿祈願のために建てた寿塔（生前墓）を納めるために建てたもの。

右の写真は扉の彫り物





月華殿



三溪園 三重塔をバックに集合写真

○中華街で昼食

三溪園の見学を終え、12 時になりこれから中華街での食事です
お店は各自が選んで好きなお店での食事となります

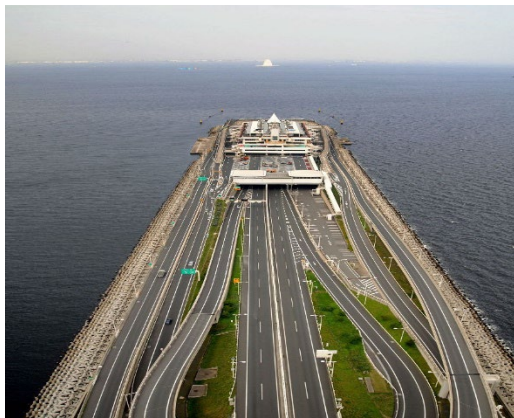


○食事の後は山下公園の散策・・・天気良好お腹もイッパイ・・・





○帰りはアクアラインを經由 海ほたるで休憩しユーカリが丘に午後 5 時 15 分到着しました



第 34 回みずき会の歩こう会バス旅行を終えて

今回は「名園三溪園と横浜中華街グルメの旅」と題して三溪園と中華街に行ってきました。

天気は晴れ、朝の集合も参加者の集まりが順調でバスは予定より 15 分早く出発出来た。

市川 PA での休息をへて三溪園に到着。{実業家原富太郎（茶人としての号 三溪）によって造られた日本庭園、横浜本牧に広がる 17,500 m²の起伏ある地形を持つ園内には京都や鎌倉などから集められた三重塔や茶室等歴史的な建物が巧みに配置されているのが見所}

三溪園の見所を説明したパンフを読んで期待に胸を膨らませて園内に入った筆者が驚いたのはパンフの内容に違わぬ壮大な庭園とその中に配置された建造物のバランスの良さ、予定していた見学時間 1 時間 20 分が短すぎると参加者からクレームが出るほどの素晴らしさだった。園内で撮った集合写真の出来上がりを見るのが楽しみです。

三溪園見学の後は山下公園にバスを止め中華街へ参加者は自由行動で昼食を、筆者も 7 人ほどの仲間と裏通りの店舗へ、メインの通りは外人、若者で混雑をしていたが、筆者が入った店は落ち着いていて静かに食事が出来ました。食後は少し時間があつたので山下公園のベンチで無駄話を太陽の下で至福のときでした。

旅行は天気が一番。

文責 牧 俊紀